取扱説明書

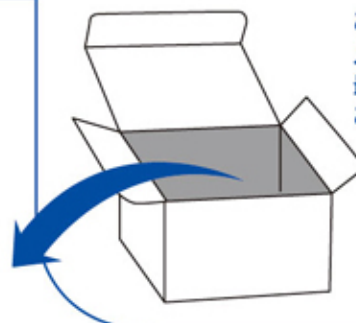
ご使用前に必ずお読みください。 保証書付（P14）

ATC
AUTO TENSION CONTROL

URL http://www.miyaepoch.jp

このたびは、COMMAND X 7HP PRO&AM を
ご購入いただき、誠にありがとうございます。
このリールの機能を十分に発揮させ、また永年ご愛用頂だく
ためにもこの取扱い説明書をお読みください。

INDEX

梱包の内容

保証書（P14）に販売店印が捺印されていることをご確認下さい。

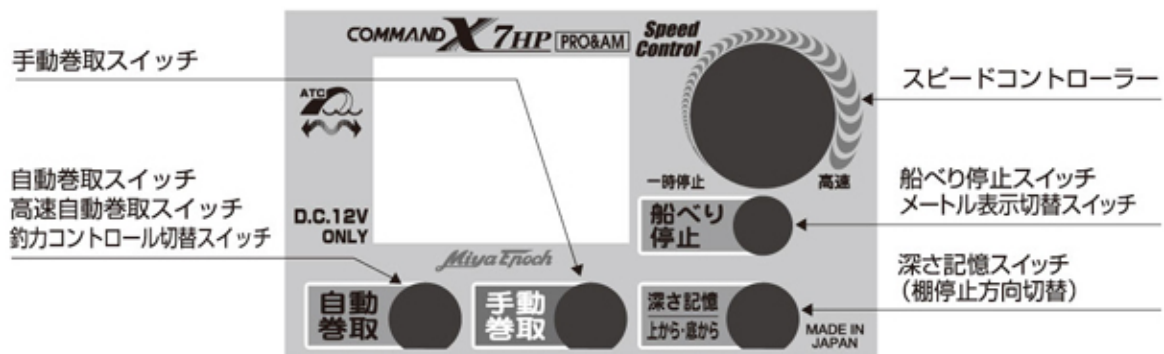
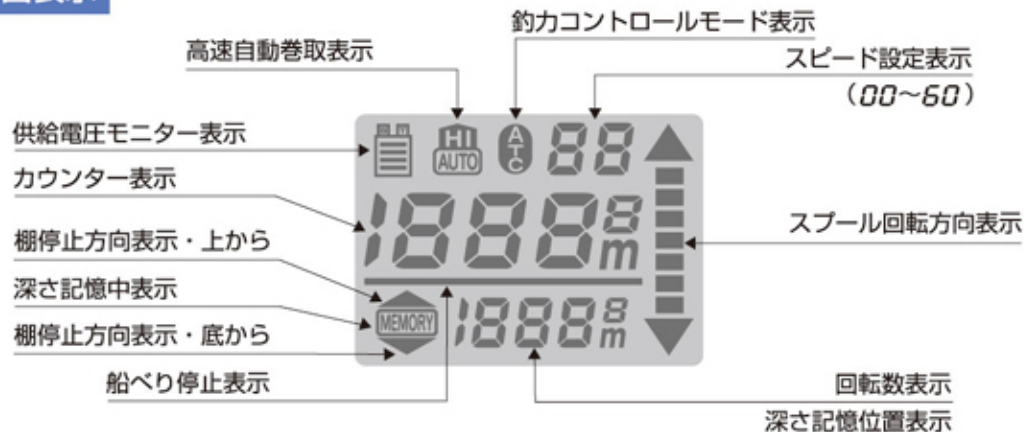
Miya Epoch COMMAND X 7HP PRO&AM 仕様

項目	仕様	
製品名	COMMAND X 7HP PRO&AM	
	D.C-12V	D.C-24V
最大糸巻量（ミヤNEWディープセンサー）	8号−1.200m、10号−1.000m、12号−800m、15号−600m、20号−400m （注）スプールの高さより多く巻かれますと、フリーにならなくなりますので、巻き過ぎには十分ご注意下さい。	
瞬間最大巻上力（スプール最小径時）	48kg（470N）	61kg（598N）
最大巻上速度（スプール最大径無負荷時）	122m／分	120m／分
クラッチ方式	多板式	
ドラグ耐力	19〜42kg（186〜411N）	19〜42kg（186〜411N）
レベライン	固定レベライン	
巻上方式	3ウェイ（電動、手巻、電動＋手巻）	
電源	D.C-12V	D.C-24V
消費電流	1.4〜20.0A	0.7〜14.0A
手巻きギヤ比	1：2.33	
電子制御	船べり停止、深さ記憶、スロースタート、スローストップ、無段変速（一時停止・最低速〜最高速）、釣力コントロール	
安全機構	＋−逆接続防止、過負荷停止制御、バッテリー電圧低下検出	
液晶表示	ローラーによるメートル表示、回転数表示、深さ記憶表示、棚停止方向･上から底から表示、スプール回転方向表示、スピード設定値表示、電圧レベル表示、電圧低下警告表示、高速自動巻取り表示、釣力コントロール表示	
ハンドル	脱着可能	
使用温度	−10℃〜80℃	
ボールベアリング	9個	
バックラッシュ防止	音ブレーキ	
リール自重	4.3kg	
付属品	電源コード（3m）、リールグリース、直列用コード（24V仕様のみ）	

※本仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。

MADE IN JAPAN

COMMAND X 7HP PRO&AM 各部の名称

コントロールパネル各部の名称

液晶画面表示

電源の接続

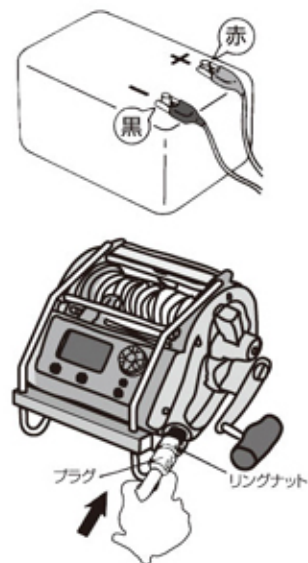
1 電源コードをバッテリーに接続します。

電源コードの赤クリップをバッテリーの⊕に、黒クリップをバッテリーの⊖に接続して下さい。
（釣行の際は、バッテリーはなるべく海水のかからない安定した場所に置いて下さい。）

2 電源コードをリールに接続します。

リールのコントロールレバーを手前に引き、スプールをフリーの状態にします。電源コードのプラグをリールのコンセントに接続してからリングナットを締め付けしっかりと固定して下さい。

3 電源が正しく接続されますと液晶画面は右図［図1］の様に表示されます。

［図1］

00～60の数字を表示します

＊電圧が低い場合は［図2］の表示となります。
正しい動作が出来ない場合がありますのでバッテリーを取替えるか、充電してください。

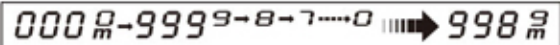
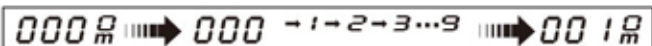
［図2］

点滅

供給電圧レベル表示

■供給電圧をバッテリーマークで表示します。

バッテリーマーク	DC12V仕様	DC24V仕様
バー4本表示	約12.0V以上	約24.0V以上
バー3本表示	約11.5V以上	約23.0V以上
バー2本表示	約11.0V以上	約22.0V以上
バー1本表示	約10.5V以上	約21.0V以上
表示の点滅	約10.5V未満	約21.0V未満

※電圧低下警告

＊ご使用になられている電源・環境により、バッテリーマーク表示と実際の電圧が一致しないこともあります。
＊バー表示が無く、バッテリーマークが点滅している時は、供給電圧が約10.5V未満（24V仕様の場合は、約21.0V未満）に低下しており正常な動作が出来ない場合が有ります。バッテリーの充電か交換をお願いします。

本製品は直流12V（24V）専用仕様であり、使用可能電圧は直流10.5V～13.8V（21.0V～26.0V）です。
直流12V仕様は直流19V以上の電圧印加は遮断される構造となっております。また他の電源（交流100V、200V等）を接続しますと、焼損して使用できなくなるだけでなく、事故の原因ともなりますので、十分ご確認の上接続してください。

糸巻き方法

1. 道糸をレベルワインドに通し、スプール軸に2、3回巻きつけて、糸止めに掛けて結びます。
2. 電源を接続します。［図1］
3. コントロールレバーを起こします。
4. ローラーアームがスプールに接触しているか確認して下さい。
   ローラーアームを上げて巻く場合は、回転途中で回転数表示に切替ります。［図2］
5. 手動スイッチか、ハンドルで少し巻きます。
   表示は 000m→999 9→8→7…→0 ➡ 998m
   とマイナス表示します。［図3、表示例996m］
6. スピードコントローラーにより、スピード設定値を00以外の数値にして下さい。［図4、表示例 07］
7. 道糸に適当な負荷を掛け、自動巻取スイッチを押して、連続巻取をして下さい。
   スピード設定値が00［図5、スピード設定表示00］の時は一時停止状態となっており、その際には、00表示が点滅し、一時停止状態をお知らせします。
8. 巻取りスピードはスピードコントローラーの操作により、任意のスピードが得られます。
9. 巻き取る道糸が残り少なくなれば、自動巻取りをストップし、手動巻取りかハンドルで巻き取って下さい。

注意 道糸はスプール径より太くならない様に巻いてください。

10. 巻き終えた後、船べり停止スイッチを長押しすると［図1］が表示されます。
11. クラッチレバーの操作を行い（P8参照）スプールをフリー状態にし、道糸を手で少し引き出し、カウンター表示が
    000m ➡ 000 →1→2→3…9 ➡ 001m
    と変化する事をご確認下さい。糸巻操作の終了です。
12. 糸巻を終えましたら、各部の機能と制御方法をご確認しておいて下さい。

［図1］

［図2］

［図3］

［図4］

［図5］

長時間連続回転させますと、モーター収納部が熱くなりますので、ヤケド等に注意ください。

糸が勢いよく出ている時、スプールの上に指を置いたり、糸をつかんだりしますと、糸で指を切ったりヤケドの恐れがあります。

糸をリードするレベルラインの所に、指を挟まれてケガをする恐れがあります。

スイッチの機能と操作方法

手動巻取スイッチ

■ 手動巻取機能

● 押している間モーターがスピード設定値 30 のスピードで回転し、離すと停止します。
※手動巻取の場合、巻取スピードは一定値 30 で設定されております。
※深さ記憶（底から停止）中、棚よりも下から巻取った場合、棚で一旦停止します。

■ 自動巻取（高速自動巻取）停止機能

● 自動巻取り動作中（高速自動巻取中）に、このスイッチを押して離すと巻取りが停止します。

自動巻取スイッチ

■ 自動巻取機能

● このスイッチを押して離すと投入した仕掛けを設定されているスピードで船べり停止位置（ 000 m ）まで連続巻取りします。

● 自動巻取中に再度このスイッチを押すと巻取りが停止します。
※液晶画面カウンターが 000 m の時、スピード設定値が 00 の時はモーターは作動しません。スピード設定値が 00 の時にスイッチを押して離すとカウンターが点滅し一時停止状態にある事をお知らせします。スピード設定値を変える（増加）とモーターが作動し、巻取りを開始します。

● 深さ記憶（底から停止）中、棚よりも下から巻取った場合、棚で一旦停止します。
釣力コントロールモードで使用中は、停止しません。

※ 魚がヒットしたら!

● 自動巻取りスイッチを操作（押し離し）して下さい。
ヒットした魚が目的の魚以上に大物だった場合等は、必要に応じてスピードの調整・ドラグ力の調整を行って下さい。

■ 高速自動巻取機能

● このスイッチを長押しし、液晶表示部に“HI AUTO”表示後、指を離すと高速自動巻取を開始し船べり停止位置 000 m、もしくは深さ記憶（底から停止）中は棚まで連続巻取りします。
● 高速自動巻取り中は、スピード設定表示の数値に関係無く最高速で巻き取りますが、運転中にスピードコントローラーの操作を行うとその設定値にスピードが変速され、その後はスピードコントローラーによるスピード調整が可能となります。
● 高速自動巻取り中は、釣力コントロール表示“ATC”であっても釣力コントロールは効きません。
● 高速自動巻取り中に、再度このスイッチを押して離すと巻取が停止します。
*液晶画面が船べり停止位置 000 m の時は、モーターは作動しません。

■ 釣力コントロール、通常モード切替

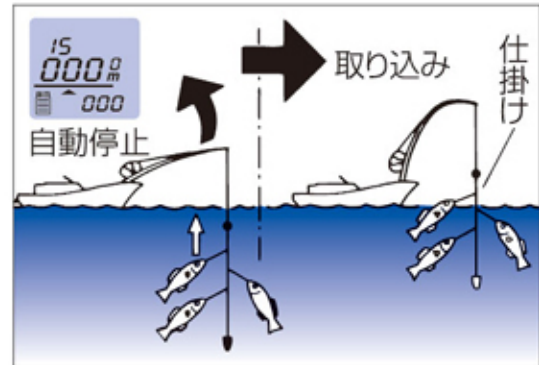
● 船べり停止位置でこのスイッチを長押しすると“ATC”が点滅後、非表示となり通常モードでの巻き取りになります。
● 上記の状態で再度このスイッチを長押しすると“ATC”が表示され、釣力コントロールモードでの巻き取りになります。

※電源投入時は釣力コントロールモードに設定されます。
※通常モードとは釣力コントロールの働かない自動巻取りモードのことです。

船べり停止スイッチ

■ 船べり停止位置の設定機能

● 魚の取込み、餌の取替え、仕掛け取込みに適した位置で、このスイッチを長押しすると液晶画面のカウンター数値が点滅後に 000 に切替り、次回の投入巻上げ時はこの位置で自動停止します。

船べり停止位置は道糸の伸縮、獲物の引きなどによって多少異なることがありますが、その場合は再度停止位置を決めて、船べり停止スイッチを押して下さい。

■ メートル表示と回転数表示

● ローラーを下げて使用しますとメートル表示です。
● ローラーを上げて使用しますと回転数表示です。
● 回転数表示からメートル表示に切り替えるには、ローラーを下げて投入・巻上げをしますと切り替わります。

深さ記憶スイッチ

■ 深さ記憶機能

● 記憶させたい深さ（棚）位置でこのスイッチを押して離すと、その深さ（棚）を記憶し液晶画面に記憶された深さがメートル又は回転数で表示されると同時にMEMORYの文字が表示され、次回の仕掛け投入時より記憶された深さ（棚）位置で自動停止します。
深さ記憶（棚）位置を変更したい場合は、次に記憶したい深さで停止中に再度このスイッチを押して離すと、深さ記憶（棚）位置が変更されます。
深さ記憶を解除したい場合は記憶されている深さ（棚）位置に停止中か、船べり停止中に再度このスイッチを押して離すとMEMORYの文字が消えるのと同時に記憶位置が解除されます。
● 棚停止（上から停止）後、コントロールレバーを『スプールロック解除位置』まで移動させると、スプールロックが解除されます。
※釣力コントロールモードで自動巻取中は底からの停止は出来ません。

■ 棚停止方向切替機能

● このスイッチを長押しする事で上からの停止（仕掛け投入時の停止）と底からの停止（巻上げ時の停止が切替り）▲（上から）▼（底から）の表示記号が切替ります。
※電源投入時は上からの停止に設定されています。

スピードコントローラー

スピードコントローラーを廻すことで液晶画面のスピード設定表示が変化します。（00～60）

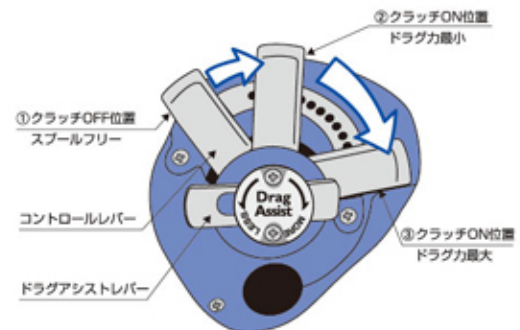
■ 巻取りスピード（釣力）の変速機能

● 右回りに廻すとスピードが速くなり（最大60）巻上げ力が強くなります。
● 左回りに廻すとスピードが遅くなり巻上げ力が弱くなります。
● さらに00表示まで左に廻すと一時停止となります。

ドラグアシストレバー

● 魚が掛かった際に、コントロールレバーを動かさないで、ドラグの微調整を行なう事が出来ます。
むやみにドラグ力をアップさせるものでは有りません。
無理に締めこむと製品を損傷させる可能性が有りますので、ご注意下さい。

コントロールレバーの使い方

CX−7HP PRO&AMには、多板式ドラグシステムが搭載されており、スムーズなドラグ調整が行えます。
コントロールレバーが右図①に位置にある状態でスプールがフリーであることを確認します。
もし、スプールが引っ掛かるような場合はドラグアシストレバーを右もしくは左に回しフリーになるように調整して下さい。
コントロールレバーが右図②の位置でクラッチがON（接続）され、③の位置で最大のドラグ力となります。
もし、ヒットした魚が目的以上に大きい魚だった等でドラグ力が不足した場合はドラグアシストレバーを時計方向に回転させドラグ力を調整して下さい。
ただし、ドラグアシストレバーを調整した場合コントロールレバーを①の位置まで戻しても、スプールがフリーにならない場合がありますので再度調整を行って下さい。

※ドラグ調整をされる場合、スプールにフリー位置付近ではクラッチを噛み合わせる機構の関係上、クラッチレバー又はアシストレバーを緩め過ぎますとスプール回転時、音が発生しますのでご注意下さい。（本体不具合ではありませんので、クラッチレバー又はアシストレバーを締めて調整して下さい）

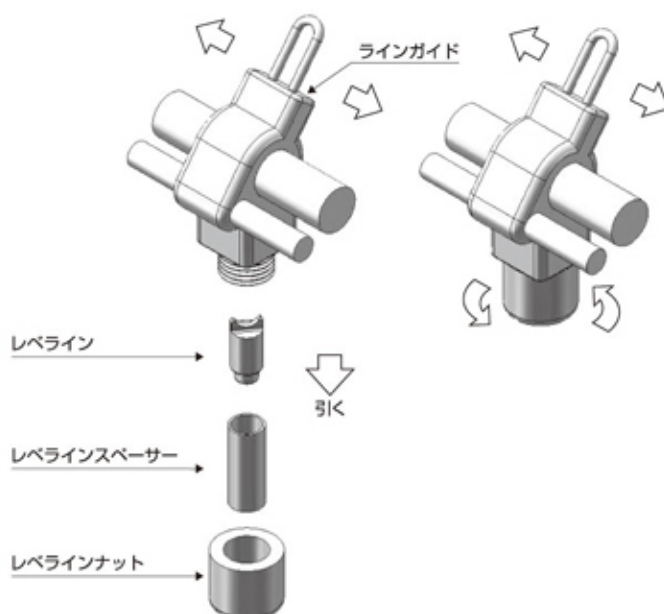
機能と操作方法

音ブレーキノブ

■ バックラッシュ防止機能

●ノブを手前側に移動させると、音ブレーキが有効になり、仕掛け投入時のバックラッシュを防止します。
●巻取り時はノブを反対側に移動させ、音ブレーキを解除させて休ませて下さい。

固定レベラインの取替方法

レベラインナットを外し、レベラインスペーサーからレベラインを抜いて頂くと取替えが出来ます。

メーター表示についてのお願い!

- ナイロン・ワイヤー(コーティングワイヤーを含む)を道糸としてご使用になりますと表示メーターに多少の誤差が発生する恐れがあります。
- 釣行後、ローラー回転部に塩分等が付着していますので必ずローラー部を真水で洗ってください。
- 道糸の巻取径はスプール径より大きくならないようにして下さい。
- 船べり停止位置は獲物の大きさ・引き、道糸の伸縮等により多少の変動が発生する事があります。その場合は必要に応じて再度、船べり停止位置を設定して下さい。

[図1]

[図2]

1 電源の接続をしましょう。

電源コードを船上のバッテリーに接続して下さい。
電源コードをリールに接続して下さい。

2 電圧のチェックです。（図1）

バッテリーマークのバーが、1本以上あれば使用可能です。

3 仕掛けを接続しましょう。

4 船べり停止スイッチを長押しして（図2）表示で離して下さい。

この表示（図2）で準備OKです。

5 仕掛けを投入しましょう。

6 仕掛けが海底、又は任意の深さに降りればクラッチレバー・手動巻取りスイッチを操作して棚を取って下さい。

7 棚を取り終えたら、対象魚・釣法に合わせて、釣力コントロールを設定しましょう。

釣力コントロールを使用した場合、魚の引込力や船のローリングによるラインに掛かるテンションの強弱をマイコンが常時監視し、その場面に応じた巻上力とスピードに調整します。

- 魚の引きが強ければ、巻上スピードが遅くなり、巻上力は弱くなります。
- 魚の引きが弱ければ、巻上スピードが速くなり、巻上力は強くなります。
- 魚をバラさず、より早く取り込む事ができます。

● 電源投入直後は、釣コントロールモードに設定されております。

通常モード

釣力コントロールモード

8 魚がヒットすれば、自動巻取りスイッチを押して離して下さい。
スロースタート機能が発揮され、巻取りが始まります。

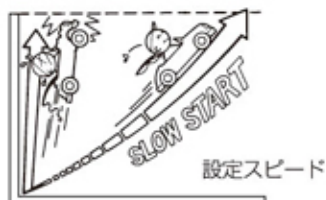
9 巻上げ時は、スピードコントローラーにて巻上速度を調節して下さい。

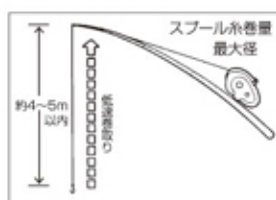
10 船べり停止位置近くになりますとスローストップ機能が働き、船べり停止位置にてストップします。魚の引きにより、仕掛けが巻き足りない状態が起きれば、手動スイッチ、ハンドルで巻上げて魚を取込んで下さい。

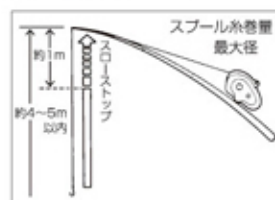
11 船べり停止スイッチにて、任意の停止位置（図3）を設定しましょう。

[図3]

■スロースタート制御

自動巻取スイッチを押して離しますと、スピードコントロールで設定されている速度まで最低速度よりスロースタートします。

■巻込み防止制御

スプール糸巻量が最大径の場合、約4〜5m手前で巻き取った時は、最高スピードに設定されていても低速で巻取り巻き込みを防止します。

■スローストップ制御

自動巻取中、船べり停止の約1m手前から巻き取り速度を除々に減速し、スローストップします。

! 魚がヒットした時に、深さ記憶スイッチを押しましょう。

深さ記憶された表示

魚がヒットした深さを記憶しますので、再度、仕掛けを投入すれば、狙いの棚でストップします。
コントロールレバーを前に倒して、魚のアタリを待ちましょう。
棚停止（上から停止）後、コントロールレバーを『スプールロック解除位置』まで移動させると、スプールロックが解除されます。

分 解 図 COMMAND X 7HP PRO&AM

アフター用の部品をご注文の場合は部品表の番号、部品名、DC.12V・DC.24Vのタイプ別をご指示の上
ご用命賜わります様、お願い致します。

番号	部品名	数量
1	カバーL	1
2	⊕なべ小ねじ M3×25	2
3	⊕なべ小ねじ M3×8	15
4	平行ピン φ2×14	1
5	⊕皿タッピンねじ M3×6	2
6	メインシャフト受け	1
7	サブフレームL 部組	1
8	メインシャフト	1
9	袋ナット	1
10	⊕なべ小ねじ M3×15	3
11	ローラーセンサーギヤA	1
12	スラストベアリング	2
13	メインギヤ 部組	1
14	⊕なべ小ねじ M3×10	10
15	⊕なべ小ねじ M4×14	2
16	⊕なべ小ねじ M4×16	12
17	マスターギヤシャフト 部組	1
18	駆動ギヤC・D 部組	1
19	減速ピニオン	1
20	平行ピン φ2×10	1
21	⊕トラス小ねじ M4×12	2
22	平座金 M4用	2
23	Oリング P4	2
24	フレームL 部組	1
25	スプールリング	1
26	クラッチプレートA 部組	1
27	スリップリングB	3
28	スリップリングA	3
29	カラーA	2

番号	部品名	数量
30	スプリングB	1
31	ベアリング W687ZZ	1
32	スプールベアリング	2
33	銘板B	1
34	サポートガイド	1
35	ラインバー	1
36	スプール	1
37	レベラインバー	1
38	レベライン 部組	1
39	ドライブシャフト	1
40	クラッチスプリングA	1
41	カラーB	2
42	ベアリング 606ZZ	1
43	スプールギヤ	1
44	⊕なべ小ねじ M3×5	3
45	ライニング	5
46	バネF	1
47	ロックピン	1
48	ローラーアームB	1
49	ギヤB	2
50	ギヤA	1
51	ローラーホイール	1
52	Oリング P11	4
53	ローラーアームA	1
54	アームシャフト	1
55	バネD	1
56	ギヤE	1
57	ローラーシャフト	1
58	⊕なべ小ねじ M2.6×8	1
59	防水パッキンL	1
60	駆動ギヤA 部組	1
61	モーター 部組	1
62	防水パッキンR	1
63	スタンド 部組	1
64	サポートプレート	1
65	蝶ナット M8	2
66	フレームR 部組	1
67	トラバースカム 部組	1
68	音ブレーキツマミ	1
69	音ブレーキ 部組	1
70	サブフレームR 部組	1
71	カバーR	1
72	レバーガイド	1
73	コントロールレバー	1
74	レバーボールガイド	1
75	SUSボール φ4	1
76	レバーボールガイドバネ	1
77	レバーボール押えバネ	1
78	レバーカバー	1
79	サイドカバー	1

番号	部品名	数量
80	⊕なべ小ねじ M4×10	2
82	平座金 M3用	1
83	⊕なべ小ねじ M2.6×10	1
84	ハンドルナット	1
85	メタコンセットプレート	1
86	メタルコンセント	1
87	⊕皿小ねじ M2×12	3
88	Oリング S14	1
89	ハンドルギヤA 部組	1
90	ハンドルギヤB	1
91	E型止め輪 5	1
92	クラッチカムA	1
93	クラッチカムB	1
94	ドラグワッシャ	1
95	ドラグナット	1
96	ハンドル 部組	1
97	ハンドルナットプレート	1
98	⊕トラス小ねじ M3×5	1
99	六角穴付き止めねじ M2.6×4	1
100	ノブ	1
101	銘板A	1
102	パネルカバー	1
103	コントロールパネル	1
104	レンズ	1
105	パネルパッキン	1
106	スイッチボタン	4
107	⊕なべ小ねじ M2.6×6	8
108	オイルシール	1
109	LCD固定板	1
110	制御基板 部組	1
111	コントロールBOX	1
112	Oリング S55	1
113	モーターカバー	1
114	電源基板 部組	1
115	いたずら防止ねじ M3×6	1
116	LHスティックスねじ M4×5	1
117	アームホルダー	2
118	ガードアームL	1
119	皿バネ φ8	2
120	六角ナット M8	2
121	アームサポートA	1
122	⊕トラス小ねじ M3×10	2
123	アームサポートB	1
124	ガードアームR	1
127	ベアリング	1
128	スペーサー	1
129	ドラグ	1
130	Oリング	1
131	ドラグアシストレバー	1
132	ドラグカバー	1
133	⊕なべ小ねじ M3×5	2
134	レベライン	1
135	レベラインスペーサー	1
136	レベラインナット	1

使用上のご注意及びお手入れ方法

いつまでも快調にご愛用いただくため、次の事にご注意ください。

①電源は正しい指示電圧でご使用ください。
DC-12V専用（DC-10.5～13.8V）
DC-24V専用（DC-21.0～26.0V）

②落下等急激なショックを与えないでください。

③本機は完全防水（0.3気圧）ですので、使用後は真水をかけて汚れや塩分を洗い流して、柔らかい布で拭き取ってください。

④リールのコンセント部、コードのプラグ部、クリップ部、レベルワインド部は塩分及び水分をきれいに拭き取り、添付のグリースを塗ってください。

⑤シンナー等の有機溶剤系のものでの、洗浄お手入れはお止めください。
※市販のスプレー潤滑油は、鉱物性のものが多いので特にご注意ください。

⑥指定の注油部（レベルワインド・電源コンセント）以外の本体内部には、注油の必要がありません。

⑦本機はコンピュータ等の制御回路が内蔵されておりますので、お客様ご自身での分解組立はご遠慮ください。

⑧リールを使用しないときはドラグノブを緩め、スプールをフリーの状態にして保管してください。